

遊びからカルチャー、そして競技へ！ 東京2020大会で五輪競技に

1940年代、アメリカ西海岸で生まれた遊びが始まりとされているスケートボード。1980～1990年代にかけて世界中に広まり、ファッションや音楽などとともにストリート・カルチャーの主要な要素になりました。東京2020オリンピックでは初めて競技として実施され注目を浴びました。

参考「日本オリンピック委員会ホームページ」

「床がツルツルですごく滑りやすいです。オーリー（※）を高く飛べるように練習したいです」と笑顔を見せます。

※オーリー：板と一緒にジャンプするトリック

この場所から未来へ

4月20日（日）、待ちに待ったスケートパークのオープンの日。子どもから大人までたくさんの方々が集まり、初めての滑走を楽しみました。

のように協議を重ねてきました。「初心者や子どもたちが挑戦しやすいセクションを選びました。のびのびと練習できる場所ができたことが何より嬉しいです」と笑顔を見せます。

心の元気をチャージ

ミシガン大学の Mary Carol Hunter 博士は論文で「ストレスホルモンのコルチゾールを減少させるのに最も効果的なのは、自然を感じられる環境下で20～30分過ごすことだ」と述べています。休日、お近くの屋外施設でリフレッシュしてみませんか？



①パークの開園式に集まった子どもたち。②かまどと水道のある緑地公園のBBQ場。③スケートパーク近くにあるドッグラン。



MIYOSHIロゴ入りの小倉さんのスケートボード

「と話すのは小学6年生の小倉さん。果敢にトリック（技）に挑戦する子どもたちを見守る香野会長は「このパークから三芳町のスケートボード文化が盛り上がりつつありますね」と嬉しそうに話します。子どもから大人まで「チャレンジしたい気持ち」を叶えるスケートパーク。この場所で練習したスケーターがオリンピックの舞台へ……。そんな未来の実現も、遠くなくかもしれません。

自分らしく心も元気に

スケートパークの周りには、他にもドッグラン・バーベキュー場・アスレチックなど、緑の中のレジャー施設が集まっています。三芳町の大きな魅力である緑や自然。その恵みを感じながらアウトドアを楽しむことは、健康にもつながるといいます。

ミシガン大学によると、自然を感じられる環境で20～30分過ごすことでストレスが軽減されるという研究結果があります。

楽しく、心身ともに元気になれる屋外レジャー。町内の様々な施設に足を運んで、自分だけの楽しみ方を見つけてみてはいかがでしょうか。

／行ってみよう！わくわく屋外施設／

町内唯一！ボール遊びができちゃう公園



DATA

木ノ宮第3子供広場
住所：上富1490-1

4月からサッカーボールなどのボール遊びができるようになった公園。ルールを守って楽しく遊んでください。

4月末から稼働中！水遊びができる噴水



DATA

せせらぎ水辺広場
住所：藤久保1120-1

約2mの高さまで上がる噴水があり、水遊びにぴったり。運転は土日祝。※夏休みは毎日運転



スケートパークでトリック（技）に挑戦。のびのびと練習できます。

役場敷地内に

スケートパーク
Let's Skate board OPEN!



9:00～17:00
予約不要で誰でも利用できます。



三芳町スケートボード愛好会

子どもから大人までスケートボード好きが集まる愛好会。今後は不定期で練習会も開催予定とのこと。「初めての人も一緒に楽しみましょう！」



自分だけの「おそと de みよし」 MYスタイルde 休日を楽しもう

町内には、自分らしく休日を過ごせる屋外施設が点在。4月に開園したスケートパークを中心に、様々な施設を紹介します。

待望の場所

「パークの完成を心待ちにしていました」と話すのは三芳町スケートボード愛好会の香野会長。地元の子どもたちにスケートボードを教えるなど、魅力を広める活動を行っています。今回のスケートパークの設置にも、約5年前から携わり、スケーター視点でより良いパークとな

役

場駐車場の一角に真新しいコンクリートで作られたエリアができたことをご存知ですか？これはスケートボードなどを楽しむための「スケートパーク」。セクションと呼ばれる、傾斜や段差のある設備を備えた、町内初となる施設です。



スケートパークができたのは役場のすぐ近く。初心者や子どもも練習しやすい設備となっています。